

国際シンポジウム

# ナクバと ヒロシマ

—— 記憶とその継承 ——



撮影: 広河隆一 / 参考資料: 記録映画「パレスチナ1948・NAKBA」(広河隆一監督作品)

「ナクバ」から60年、  
ヒバクから63年の「ヒロシマ」の地で  
対話する、2つの記憶。

基調講演: ローズマリー・サーイグ  
(Rosemary SAYIGH)

パネリスト: 鶴飼 哲 (一橋大学)  
直野章子 (九州大学)

趣旨説明: 宇野昌樹 (広島市立大学)

2008年  
12月14日(日)  
13:00~17:00

会場 / 広島市まちづくり市民交流プラザ 6階  
マルチメディアスタジオ

広島市中区袋町6丁目36番  
<http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

主催: 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 (NIHU)  
地域研究推進事業 イスラーム地域研究

※本シンポジウムは、NIHUイスラーム地域研究プロジェクト  
国際シンポジウム「ナクバから60年——パレスチナと東アジア  
の記憶と歴史」の一環として開催されます。

共催: 広島市立大学 国際学部  
広島・中東ネットワーク

入場無料

※裏面の申し込み受付に  
お申し込みください。